

**港南区地域子育て支援拠点事業
平成29年度重点目標評価結果・次年度重点目標**

事業実施期間	平成29年4月1日～30年3月31日(1年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ちゅーりっぷ 港南区子ども家庭支援課
事業目的	市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。 【事業・施設運営の基本理念】 1 港南区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

平成29年度重点目標の評価

平成29年度重点目標①	地域のひろば・サロン等へ出向き、ネットワーク強化と港南区の子育て支援力の向上に努める
取組内容	①地域のひろば・サロン等を訪問し、状況を把握し、連携を深める ②ひろば・サロンの支援者が集い、活動の様子の共有をし、課題等について共に考える交流会を行う
取組の成果	地域のひろば・サロン等へは、子育てパートナーと連携しながら訪問し、現状の把握や情報の収集・提供に努めた。それらを活かし、子育てひろば・サロンを担う方々の交流・勉強会を開催した。活動の様子を共有したり、課題について共に考えたことで活動のヒントが得られ、工夫も生まれた。また、ひろば・サロン同士のつながりが強化された。
取組の課題	ひろば・サロンの交流・勉強会への参加者からは、情報共有・交換の場を求められている。交流会・勉強会への参加者が固定されており、今後はより多くの方々が参加されることを目指し工夫していく。
平成29年度重点目標②	妊娠期からの拠点利用を促すことで、切れ目なく子育てを見守れる場としていく。
取組内容	①プレママ・プレパパの参加できる講座等を行い、拠点への来館を促し、出産後も継続して利用につながる工夫をする。 ②実際に継続利用につながっているかについて、把握していく。
取組の成果	初めての沐浴体験には、多くのプレママ・プレパパが参加した。講座後は、拠点内の見学や赤ちゃん親子とふれあう時間を設け、出産後の拠点利用のイメージが持てるように工夫した。また、プレママ向けの講座も開催し、実際に出産後の利用につながり、継続しての利用もみられた。
取組の課題	沐浴体験には毎回定員を上回る応募があり、人数に限りがあるため希望者全員に参加してもらえない。参加できないことで妊娠期からの拠点へ訪れる機会も失われてしまいがちなので工夫をしていく。
平成29年度重点目標③	地域のさまざまな親子が拠点の機能を利用しやすくなる工夫をする。
取組内容	利用者の少ないエリア等へ拠点スタッフが出向き、遊びの場や情報の提供をする。
取組の成果	「出張はっち」として利用者の少ないエリアの公園へ出向き、一緒にあそぶことで外遊びの大切さを伝えた。既存のサークルと連携することで参加者が増え、結果として拠点を知り、その後拠点を訪れるきっかけになった。
取組の課題	参加者が拠点と地域の双方につながる機会となるように、「出張はっち」の際には、地域の方々の既存の活動と連携をとりながら実施していく。

次年度重点目標

平成30年度 重点目標	子育て家庭をあたたく見守る地域づくりに向けた取り組みを行う
取組内容	・妊娠期から継続して拠点利用を促すことで、切れ目なく子育てを見守れる場としていく。 ・小・中学生を中心にさまざまな世代との交流を図り、地域と共に子どもを見守る機運づくりをしていく。 ・「出張はっち」を実施し、広域のエリアで子育てに関わる学びの場を提供する。